

令和元年度事業「西川町議会事務事業評価シート」
議会による事務事業評価（西川町議会）

	予算科目	事業名
3	10款1項3目（教育振興費） 220-200-1	教育用コンピュータ整備事業

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 ・町民にとって必要な事業か ・社会情勢からみて実施が適切か ・町が主体となって関与すべき事業か	23	全国一律的な教育を受けられる教育環境を整える必要はある。 国のGIGAスクール構想に沿った授業は必要。パソコン教育が教育の全てではなく、教育上の1ツールである。
2 妥当性 ・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べサービスの対象、内容は適切か ・町民目線として適切か	18	子供たちの教育面、教育環境整備からは町で整備することが妥当。一人一台のパソコンの配備体制の推進を図るべき。
3 効率性 ・事業の手法は効率が良いか ・コスト削減の余地はないか ・受益者負担は適正か	14	現段階では、西川小学校で1台あたり5.2名、西川中学校で1台あたり2.4台と一人1台の体制に至っていない。
4 成果 ・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか	17	一人一台のパソコンの配備体制が整っていない中で、工夫を凝らし良く学習成果を出している。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	1 きわめて良好である 100点	72
	2 良好である 75～99点	
	③ おおむね適正である 50～74点	
	4 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
2	1 拡充する	これからの必要性は非常に高いと思われるが、賃貸（リース）、維持管理（保守点検）等の経費が発生する。機材の確保だけでなく、経費面も考慮し、どのように有効活用していくかを検討することが重要である。 ハードウェア整備とソフトウェア整備は表裏一体であり、どのようなソフトウェアを導入するかにより成果に大きな差が生じることとなり、対応が必要。
	② 現状のまま維持する	
	3 改善し継続する	
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
GIGAスクール構想においても、西川町の保・小・中一貫教育のもと子供たちの将来を見据えた事業を推進してほしい。 一人一台のパソコン配備においては、セキュリティ対策、有害情報対策等を十分考慮する必要がある。